

# 佐賀県多久市の取り組み（平成29年度）

## 総務省地域IoT実装推進事業

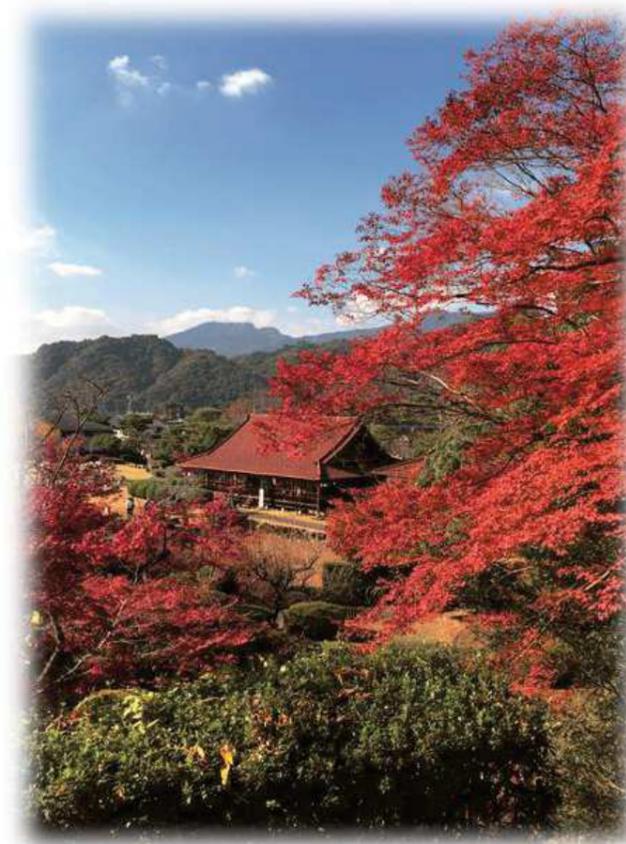
### 【防災】

IoTとG空間情報を融合した  
多久市G空間地域防災システムの構築事業



### 【観光】

官民協働による九州の地域資源  
観光シェアリング化事業



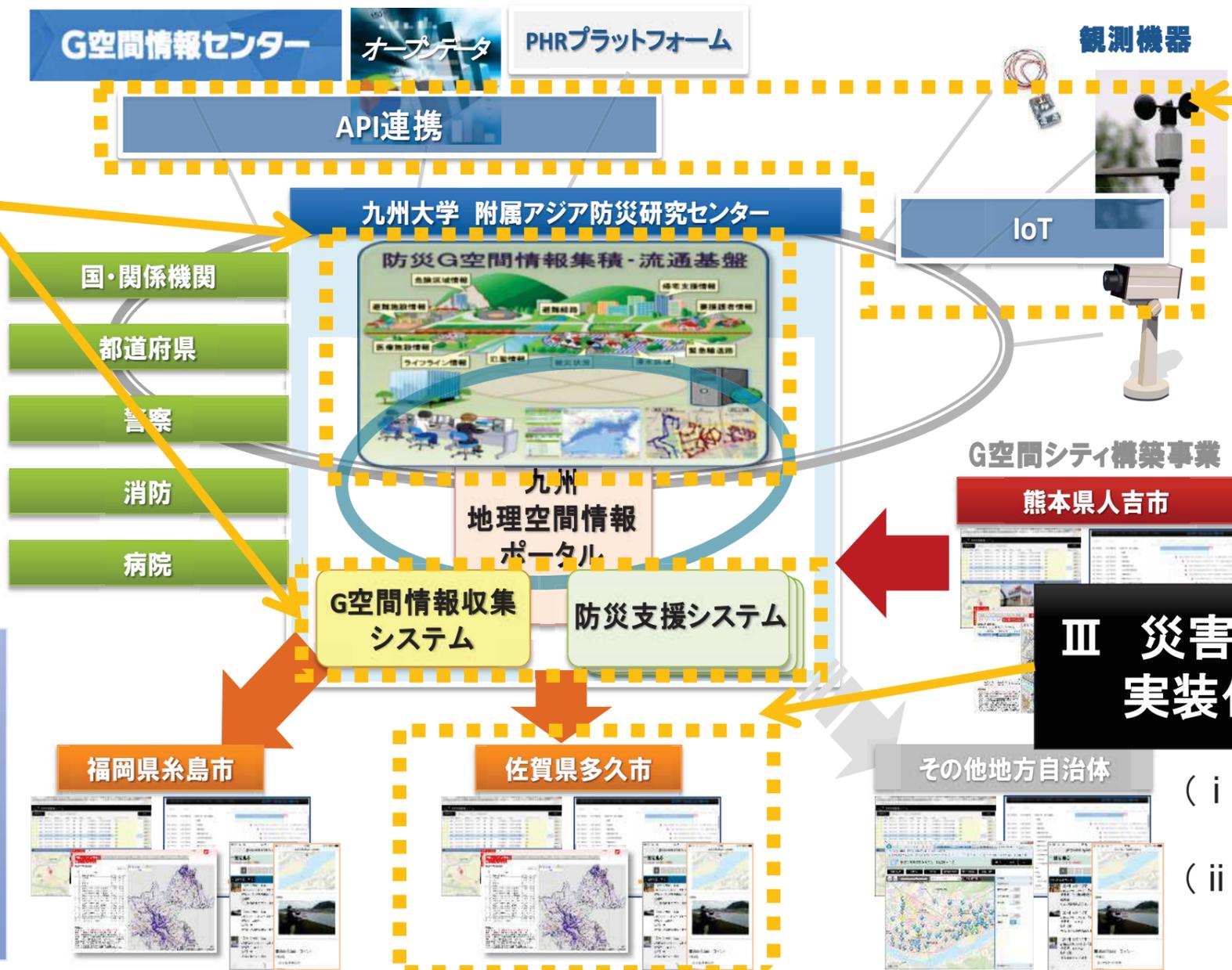
# 事業名: IoTとG空間情報を融合した多久市G空間地域防災システムの構築事業

提案者	佐賀県 多久市	共同実施団体名	九州大学、株式会社パスコ
事業費	16,116千円	実施地域	佐賀県 多久市
事業概要	地域防災の最優先で取り組むべき課題を解決するため、熊本県人吉市において実施した総務省委託事業（平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」、並びに平成26年度補正予算「G空間防災システムとLアラートの連携推進事業」）において実証・構築した「G空間地域防災システム」を多久市において普及・展開する。なお、人吉市と同様に、大学や民間企業等との産学官協働により、本市の地域特性を考慮したさらなる拡張を図るものとする。また、「地域IoT実装推進ロードマップ」の実現に向けた取り組みについても実施する。		

## I G空間地域防災システムの構築

- (i) G空間地域防災システム（成功モデル）の適用
- (ii) 既往の防災関連情報の収集・加工、並びに外部システムとの情報連携による集積への検討
- (iii) G空間地域防災システムの導入

本事業は、本市の課題解決や基本目標達成へ大きく貢献するとともに、地域IoT実装推進ロードマップ(防災分野)における「システム実装自治体数100」の目標達成に寄与する



## II IoTを融合したG空間地域防災システムの導入

- (i) 現行の避難勧告等判断基準とIoTで集積した情報による判断・対策の検討
- (ii) ICT/IoTとの連携機能の検討

## III 災害対策の高度化、及び実装化に資する運用支援

- (i) G空間地域防災システムを用いた机上訓練
- (ii) 継続運用に向けた支援体制の検討と立上げ

# 官民協働による九州の地域資源観光シェアリング化事業

提案者	特定非営利活動法人価値創造プラットフォーム		
	実施地域	佐賀県多久市・長崎県佐世保市・熊本県錦町・熊本県和水町	
事業概要	<p>①TABICAを通じ、地域資源を魅力的な観光コンテンツ化し、地域在住の個人がつくる地域体験ツアーをサイト上に掲載、民間主導での地域体験シェアリングプラットフォームを構築・運営する。</p> <p>②ツアー内容や利用状況はTABICA上のクラウドデータベースに全て集め、課題の分析等を行い、自治体等にその知見を広く共有する。</p>		



## ■地域が抱える課題

少子高齢化による人口減少、人材不足、自治体の財政難等から観光客は地方へ行かず、地域資源も有効活用されない状況である。

## ■事業展開後に想定される効果

- ・観光コンテンツ化を増やす事で、地方への観光客送客ができる
- ・立ち上げから運用まで既存の民間のオンラインプラットフォームを利用することで、初期立ち上げコストの大幅な抑制と地域のICT化を促進する。

## ■先進事例の横展開へ

- ・地域IoT実装推進ロードマップの官民協働サービス分野「シェアリングエコノミー」の横展開事業。
- ・TABICAは「ICT地域活性化大賞2016」にて奨励賞を受賞。

## ■関係団体とのタテ・ヨコ連携構築

3主体(自治体・TABICA・DMO法人ら地域関係団体)と実装エリア同士が連携して、地域課題の解決を担う着地型観光ツアー造成を企画する。